

# 港湾振興便り



2019. 5

第144号

\*\*\*\*\*

## 目 次

\*\*\*\*\*

### 1 ポートエッセイ

— クルーズ船のにぎわい

令和の時代にも期待 —

～日本港湾振興団体連合会会長(元新潟市長) 篠田 昭～

### 2 トピック

●道内初！クイーン・エリザベスが函館港にやってきた

(北海道開発局 港湾計画課)

●大黒ふ頭に「クイーン・エリザベス」が入港！同日、「大黒ふ頭客船ターミナル」完成！

(関東地方整備局 港湾空港部)

●「クイーン・エリザベス」が境港に初寄港！！

(中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所)

●松山港外港地区クルーズ対応施設完成報告会

(四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所)

●志布志港国際物流ターミナル岸壁延伸着工式を開催しました

(九州地方整備局 志布志港湾事務所)

●那覇港が「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されました

(沖縄総合事務局 港湾計画課)

●那覇港総合物流センター完成記念式典が開催されました

(沖縄総合事務局 港湾計画課)

### 3 お知らせ

◇イベント名：鼠ヶ関の匂をお届け！第24回うまいカ・干しいカ・イカまつり開催

\*:

## 1 ポートエッセイ

### — クルーズ船のにぎわい

令和の時代にも期待 —

～日本港湾振興団体連合会会長(元新潟市長) 篠田 昭～

\*:

「平成」の世が終わり、「令和」の時代が幕を開けた。我々の誰もが経験したことのない、前天皇陛下が退位されての皇位継承だけに、列島に祝意が満ち、明るい改元になったことを喜びたい。これも経験のない「大型10連休」で移動する人の波も空前のものになったようだ。私の住む新潟市には、10連休に合わせるように新潟東港としては過去最大の「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」(約16万9千トン)が寄港した。来年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、クルーズ船をさらに伸ばし、日本の活力としたい。

#### <ようやく大型クルーズ船が寄港>

日本海へのクルーズ船寄港は、これまで金沢港までは大きな波が寄せてきていたが、なかなか日本海の北側には届いていない状況だった。新潟では、まちなかの西港に大型クルーズ船が着岸できないこともあって、クルーズの寄港数も伸び悩んでいた。新潟県が東港のクルーズ岸壁を改修し、17万トン級の寄港が可能になった。今年4月中旬に11.6万トン級の「ダイヤモンド・プリンセス」が東港に初寄港。次いで今回の「クァンタム」の入港となった。「ダイヤモンド」は11月にも再度、東港に入港予定だ。

#### <地域の魅力を相乗効果で>

これまで新潟東港には「コスタ・ネオロマンチカ」などが入港していたものの、バスの手配や観光コースの作り方などのノウハウが不足し、乗客がお目当ての「古町芸妓」に会えぬまま新潟港から船出してしまうこともあった。今回の大型クルーズ船寄港では、事前に新潟の魅力を相乗効果で伝えられるようコースづくりを工夫し、乗客への周知を図った。4月の「ダイヤモンド」入港時は、満開だった桜をアピールし、日本の狂言や芸妓の舞など伝統芸能を一コマ1時間弱で味わえる「アート・ミックス・ジャパン」の観覧をコースに入れた。これが功を奏し、「新潟のまちなかが、こんなに外国人でにぎわったのは初めて」との評価を得た。「クァンタム」の寄港時も大型バス100台を用意し、4千人以上の乗客に対応した。

#### <民間人の公募部長が活躍>

観光やおもてなしのノウハウ充実に一役買っているのが民間出身の市公募部長だ。新潟市では3年前、「国際・広域観光担当部長」を民間から公募し、ANA 出身の男性を採用した。公募部長は空の分野だけでなく、クルーズ船誘致にも手腕を発揮し、昨年から効果が出始めている。2017年度までは一ケタにとどまっていた寄港数が昨年度は13回、今年度は15回まで伸びてきた。東港への大型クルーズ船も大事だが、新潟では西港がまちなかに近いため、「一泊単価の高い高級クルーズ船を西港に」と両輪で誘致強化を図っている。

誘致の成果を継続させるには、乗船客の満足度を高める必要がある。ここでも公募部長は観光関係者らとのネットワークを活かし、手腕を発揮している。特に今年「飛鳥Ⅱ」が郵船クルーズの手で初めて自主運行される。郵船クルーズの自主運行寄港地は世界のクルーズ会社が注目し、「評判の良い寄港地には多くのクルーズ船が寄るようになる」(クルーズ関係者)と言われる。新潟港関係者は「西港に着岸する前から、船が岸壁を離れて見えなくなるまで、地域挙げて歓迎する気持ちをどう表現するかが勝負のしどころ」と気を引き締めている。

#### <新潟での日本港湾協会総会で情報交換を>

クルーズでは後発の新潟だけに、我々にはまだまだ見えない部分、気がつかない分野があるはずだ。

日本港湾振興団体連合会を中心に多様な情報を共有し、港湾の活性化にさらに努力をしていきたい。今度の5月22日には新潟市で「日本港湾協会」の総会が開かれる。開港150周年を迎えた新潟での総会開催を機会に、お互いの情報を交換し、明日への活力を養ってほしい。新潟への結集をお願いする。

\*:

## 2 トピック

\*:

### ●道内初！クイーン・エリザベスが函館港にやってきた

(北海道開発局 港湾計画課)

4月21日、「海の女王」と呼ばれ、世界で最も有名な英国の豪華クルーズ客船「クイーン・エリザベス」が、函館港に初寄港しました。道内で初めての寄港になります。

岸壁では、幼稚園児による「よさこいソーラン踊り」で出迎えて乗客をもてなすとともに、有名客船を一目見ようと多くの市民が訪れました。

船内の歓迎セレモニーでは、片岡副市長が「北海道初寄港を函館で迎えたことを光栄に思う」と挨拶。サイモン・ラヴ船長は「美しい青い海と雪に覆われた山を見渡せる函館の光景は素晴らしい」と応えました。

また、船内の「ロイヤル・コート・シアター」では全国の高校で初めて、地元遺愛女子高等学校の吹奏楽局が演奏を披露し、会場は立ち見客も出るほどで、2度のアンコールと拍手喝采を受けました。



函館港に初寄港したクイーン・エリザベス



船内の歓迎セレモニーの様子

### ●大黒ふ頭に「クイーン・エリザベス」が入港！同日、「大黒ふ頭客船ターミナル」完成！

(関東地方整備局 港湾空港部)

4月19日(金)、横浜港大黒ふ頭に英国の客船「クイーン・エリザベス」が入港し、「大黒ふ頭客船ターミナル」にて、客船クイーン・エリザベス歓迎式典及び大黒ふ頭客船ターミナル完成式典が行われました。

式典には、横浜市 林 市長、国土交通省 下司 港湾局長、マデン 駐日英国大使、サイモン・ラヴ クイーン・エリザベス船長、横浜港振興協会 藤木 会長など、多くの港湾関係者が出席され、盾やはっぴ等の記念品の交換、テープカットが行われました。

完成した大黒ふ頭客船ターミナルは、外国クルーズ船の寄港増加に対応するため、国際クルーズ旅客

受入機能高度化事業により横浜市が国の補助を受けて整備を進めてきました。大黒ふ頭地区再編改良事業により既存岸壁を有効活用しベイブリッジを通過できない大型クルーズ船の受入機能が強化され、大黒ふ頭客船ターミナルの完成によりCIQ(税関、出入国管理、検疫)施設を兼ね備えることで、横浜港大黒ふ頭においてクルーズ客を円滑に受け入れることができるようになります。

また、19日は横浜スカイウォークが無料開放され、多くの方がスカイウォークからの眺めを楽しみました。

関東地方整備局としても、引き続き大黒ふ頭地区再編改良事業による更なるクルーズ船受入機能の強化など、横浜港のクルーズ振興に向け、ハード・ソフト両面から必要な取組みを行います。



横浜市 林 市長による挨拶



国土交通省 下司 港湾局長による祝辞



記念品交換の様子



テープカットの様子



大黒ふ頭客船ターミナル(左)と客船「クイーン・エリザベス」(右)  
(横浜スカイウォークより撮影)

●「クイーン・エリザベス」が境港に初寄港！！

(中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所)

4月24日(水)、キュナード・ライン社のクルーズ船「クイーン・エリザベス」(90,901GT)が境港に初寄港し、日本人を中心に乗客約2,000人が境港市内の観光を楽しみました。

初寄港にあたって、境港管理組合などが、歓迎セレモニーを行いました。特産品の贈呈や郷土芸能「安来節」を安来節家元四代目渡部お糸一行が披露し、乗客乗員を歓迎しました。

また、この日は船の寄港に合わせ、通常、関係者以外立ち入ることができない境港昭和南岸壁を一般開放しましたが、平日にもかかわらず「海の女王」と称される「クイーン・エリザベス」の優雅な姿を一目見ようと約2,500人ももの市民の方が訪れ、写真に納めていました。

出港時は、あいにくの曇り空でしたが、多くの市民の方が釜山へ発つ船に手を振り見送りました。



境港に停泊する「クイーン・エリザベス」



船内にて歓迎セレモニーを開催

●松山港外港地区クルーズ対応施設完成報告会

(四国地方整備局 松山港湾・空港整備事務所)

令和元年5月11日(土)、松山港外港地区クルーズ対応施設完成報告会を行いました。近年のクルーズ需要の増大に伴う大型クルーズ船の寄港に対応するため、松山港外港地区第1埠頭2号岸壁のエプロンの全面的な舗装打替え、防舷材の取替え、係船柱の新設・改良、泊地浚渫、愛媛県のゆるキャラ「みきゃん」のイラスト付き道路標識などの整備を行ったものです。今後、5月と6月には11万トン級の大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の寄港が予定されるなど、今後は国内外から多くの訪問者を迎えることになります。

こうしたハード面での整備に加え、クルーズ船寄港に対応したおもてなし等、ソフト面についても、愛媛県および松山市と協力を重ねているところです。みなとを窓口として、世界へ向けた四国の魅力発信の一助となるみなとづくりを目指します。



松山港外港地区第1埠頭2号岸壁

整備を終えたクルーズ船対応岸壁



来賓等と松山市マドンナ大使によるテープカット

● 志布志港国際物流ターミナル岸壁延伸着工式を開催しました

(九州地方整備局 志布志港湾事務所)

平成31年3月16日(土)に志布志港国際物流ターミナル岸壁延伸着工式を開催しました。近年、志布志港では、コンテナ取扱量と航路便数の増加に伴い、既存岸壁(延長280m)ではコンテナ船2隻が同時に接岸出来ず、船舶の沖待ち(滞船)が生じるなどの非効率な荷役が発生しており、その機能強化が喫緊の課題となっています。

本事業では、当事務所が岸壁延伸(80m)を、鹿児島県が背後のふ頭用地の整備を実施するもので、本事業の完了によりコンテナ船2隻の同時接岸が可能となり、志布志港の南九州地域のコンテナ物流拠点としての機能強化が実現します。

当日は、国会議員をはじめ鹿児島県や志布志市の議員の方々、志布志市長や近隣自治体の首長、関連事業者など、関係者74名の皆様にご臨席いただき、事業着工を祝いました。



セレモニー(工事開始ボタン・くす玉開披)の様様

●那覇港が「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されました

(沖縄総合事務局 港湾計画課)

4月22日(月)国土交通大臣より那覇港が「国際旅客船拠点形成港湾」として指定され、石井国土交通大臣から田原那覇港管理組合常勤副管理者に指定書が交付されました。

今後、「国際旅客船拠点形成計画」が策定されるとともに、同計画に基づき港湾管理者と連携するクルーズ船社が岸壁の優先的な使用、クルーズ船社による旅客ターミナルビルの整備等に関する協定締結など、国際クルーズ拠点形成に向けた必要な取組が進められます。



(左:石井国土交通大臣、中央:田原那覇港管理組合常勤副管理者、右:下司港湾局長)

●那覇港総合物流センター完成記念式典が開催されました

(沖縄総合事務局 港湾計画課)

沖縄県内で最大の貨物取扱量を誇る那覇港において、物流コストの低減と、物流機能の高度化、迅速化を図るとともに、アジアにおける中継拠点港の確立を目指して整備が進められてきた「那覇港総合物流センター」がこのほど完成し、4月25日(木)同センター敷地内において完成記念式典が開催されました。

同センターは物流施設としては県内初となる「公設民営」の施設として那覇港理組合が建設し、琉球海運(株)のほか構成企業3社、協力企業8社により運営されます。

同センターの完成により、国内外のネットワークをつなぐ新たな物流拠点として、集貨・創貨が促進されるとともに、流通加工等の新たな価値を生み出す付加価値型産業の集積、更には那覇空港との連携による「シー・アンド・エア」の促進など、沖縄県経済への貢献がますます期待される所です。



完成を祝いテープカットする関係者

左から(株)那覇港総合物流センター 宮城代表取締役、那覇港管理組合議会 崎山議長、  
那覇市 久高副市長、那覇港管理組合 田原常勤副管理者、沖縄総合事務局 仲程次長、  
浦添市 野口副市長、那覇港振興協議会 山城会長



令和元年5月1日に開業した「那覇港総合物流センター」

\*:

### 3 お知らせ(みなとのイベント情報)

\*:

◇イベント名:鼠ヶ関の旬をお届け! 第24回うまイカ・干しイカ・イカまつり開催

開催日:令和元年6月16日(日) 9:15~14:00

会場:鼠ヶ関 弁天島前イベント広場

新鮮な生イカの販売はもちろん、イカ飯、イカ焼き、イカの一夜干しなどの旬の美味しいイカ料理が味わえます。

また、イカ墨書道、イカのトンビ飛ばし世界大会、スルメイカ卓球など、イカにちなんだユニークなアトラクションもあります。

イカづくしの鼠ヶ関に、ぜひお越しください!

